

..... 編集後記 .....

◆ 今月号は、特集「地質情報整備の現状と将来(その1)」8編と一般投稿原稿3編です。地質調査総合センターでは、地質情報を従来は紙ベースのみで提供していましたが、最近ではこれに加えてCD-ROMやWebによるデジタル情報の発信をすすめています。その現状を特集(その1)としてとりまとめました。一般投稿原稿は国内の地質に関するもの2編と新刊紹介1編です。

◆ 栗本史雄さんは、地質調査総合センターの地質情報の整備と公開に関する基本的な考え方と、総合地質情報データベース構想について紹介しています。

◆ 牧本 博さんは、地質情報整備の現場から、その現状と問題点を整理しています。数値地質情報の発信ではパソコンの動作環境、長期保存用メディア、ユーザーサポートの経費負担などを検討しなければならぬと指摘しています。

◆ 村田泰章さん・川端大作さん・名和一成さんは、地質情報インデックス検索システム(G-INDEX)の開発の経緯、機能・使い方、今後の開発予定について紹介しています。口絵も併せてご覧下さい。

◆ 古宇田亮一さん・菊田昌弘さんは、インターネットで流通する地質情報の信頼性を確保するための電子認証の方法について解説しています。情報過多の時代において、情報の信頼性を確認するシステムを構築するにはコストがかかるようです。

◆ 牧本 博さんと宮崎純一さんは、ベクトル形式の地質図情報(縮尺20万分の1及び5万分の1地質図幅)の整備状況とその利点、問題点を整理して紹介しています。

◆ 渡辺和明さんと村上 裕さんは、地質調査総合

センターが作成した地質情報総合メタデータ(クリアリングハウス版、日本版、アジア版)を紹介しています。実際に構築されたURLが文末に明記されていますので、アクセスを試みて下さい。

◆ 名和一成さんは、地質調査総合センターがWebページで公開しているデータベースを、データに関するものとモデル・知識に関するものに大別して紹介しています。アクセス数の高いトップ5も紹介されています。

◆ 玉生志郎・阪口圭一さん・村田泰章さんは、個別データベースの一例として、地熱ボーリング・コアの画像データベースについて、そのWeb上での見方を通して紹介しています。口絵も併せてご覧下さい。

◆ 柏木健司さんは、先月号の続報として三重県宮川村の斜面崩壊の被害を報告しています。災害調査では樹木の産状、礫層の分布高度、コケのはがれ具合などが重要であると指摘しています。口絵も併せてご覧下さい。

◆ 須藤定久さんは、シリーズ「砂と砂浜の地域誌」の10回目として、九十九里浜から銚子半島を紹介するなかで、浜を守るために造られた防波堤や人工海浜が、海浜の泥質化や草原化をもたらしていると指摘しています。表紙も併せてご覧下さい。

◆ 小松原さんは、地形学の有効性を強調しながら新刊本の紹介をしています。紹介本では23の土砂災害の事例が取り上げられ、地形判読の仕方が平易に解説されています。

◆ 読書の秋となりました。ネットサーフィンは一休みして、秋の夜長を読書でお楽しみ下さい。

(玉生志郎)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・七山 太・

光畑裕司・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第625号	2006年	9月号
	定価¥785(本体価格¥748) 千実費		
	2006年9月1日 発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2006 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。